

第四十二回奥の細道象潟全国俳句大会 投句用紙

◆ 楷書で明瞭に記入してください

投句締切 令和八年六月十九日(金) 当日消印有効(期日厳守)

※どちらかに○をつけてください。一般・高校生 ※高校生の場合は一句です

整理番号			
氏名		郵便番号	二 一
ふりがな	—		
	住所		
	(高校生の場合) 高校名と学年を記載してください。 ふりがな		
俳号			
(※名字もつく方はフルネーム)	ふりがな		
電話番号 ※平日の昼時間に連絡が取れる電話番号			
—			
当日の参加について どちらかに○をつけてください。			
俳句大会	参加	/	不参加
奥の細道サミット in にかほ市象潟 記念講演 午前10時10分～	参加	/	不参加
〒018-0311 秋田県にかほ市金浦字南金浦49-2 奥の細道象潟全国俳句大会事務局 (にかほ市生涯学習課内)			

令和8年度

第42回 奥の細道象潟全国俳句大会開催要項

「象潟や雨に西施がねぶの花」「汐越や鶴はぎぬれて海涼し」の2句は、俳聖松尾芭蕉が訪れた最北の地「象潟」で詠んだ句です。この「象潟」に思いを巡らせてもらおうと昭和59年から全国俳句大会を開催しています。ご同好お誘い合わせの上、多数ご投句いただきますようご案内申し上げます。

開催日 令和8年8月1日（土）（※ 同日同会場にて奥の細道サミット開催）

会場 ホテルエクセルキクスイ
（秋田県にかほ市平沢字町田 108 番地 1）

日程 正午～午後1時15分 大会受付

午後1時30分～午後3時 記念講演・選評

午後3時～午後3時30分終了予定 授賞式

「奥の細道サミット
inにかほ市象潟」

記念講演
「芭蕉忍者説とは何か？」
講師：吉丸 雄哉
（二松學舎大学 教授）
時間：午前10時10分～

作品形式 1人2句まで（四季雑詠・未発表のもの）※高校生は、1人1句です。

投句料 2句1組千円（現金書留または小為替同封のこと）※高校生は、無料です。

投句先 奥の細道象潟全国俳句大会事務局（にかほ市生涯学習課内）
018-0311 秋田県にかほ市金浦字南金浦 49 番地 2
電話 0184-38-2171
FAX 0184-38-4925

講師選 賞品。特選3句は蚶満寺境内の俳句掲示板に1年間掲示されます。
今年度は「奥の細道サミット in にかほ市象潟賞」もあります。

講師

井上 康明 いのうえ やすあき

昭和27年、山梨県韮崎市生まれ。俳誌「郭公」主宰。
句集に『四方』『峡谷』。著作に『飯田蛇笏の百句』（ふらんす堂）など。
山梨県の県立高校教諭を経て山梨県立文学館に勤務。
20代で俳句を始め飯田龍太、廣瀬直人に師事。「雲母」会員、「白露」同人を経て平成25年「郭公」創刊主宰。
毎日新聞毎日俳壇・山梨日日新聞俳句欄、伊賀市芭蕉翁献詠俳句、時雨忌全国俳句大会、都留市ふれあい全国俳句大会選者など。
NHK学園講師。俳句に「ふかふかの手袋が持つ通信簿」「春眠の覚めぎはに見し峰の数」など。



【主催】にかほ市、にかほ市教育委員会

【協賛】由利本荘市・にかほ市公民館連合会

【後援】秋田魁新報社、公益社団法人日本伝統俳句協会、俳人協会秋田県支部、秋田県現代俳句協会、
にかほ市芸術文化協会